事務事業ID
1246

平成27年度　事後評価

事務事業マネジメントシート

作成日　平成28年3月25日
更新日　平成28年3月25日

事務事業名	月舘地域高齢者福祉事業	担当部	総務部	担当課	総務部月舘総合支所
		担当係	市民福祉担当		

政策体系			
	政　策	4	こころ寄り添う健やかなまちづくり
	施　策	2	生涯元気なまちづくりの推進
	基本事業	3	生きがいづくりと社会参加の促進

予算科目	会計	款	項	目	大事業
	一般会計	3	1	3	高齢者福祉事業費

事業区分		
	新市建設計画・一般業務	一般業務
	新規事業・継続事業	継続事業
	計画事業・経常事業	計画事業
	市単独事業・国県補助事業	
	実施形態	
	事業期間	～

【PLAN（計画）】

施策の目的（最終目標）	高齢者が、地域において健康で生きがいを持って生活することができる。
施策の直近の目標（施策マネジメントシートから要約転記）	高齢者が介護予防をすることにより、元気で健康に暮らすことで、自立した日常生活を営む。

目指すべき状態（目的・成果）				
①対象（誰、何に対して事業を行いますか）	65歳以上の介護保険認定を必要としない元気な高齢者	②意図（どのようになることを目指しますか	介護保険サービスを必要としない、心身ともに健康な状態で生活する。
③ 目指すべき状態（①,②）になるために必要なことは何ですか？【成果の視点】	自宅にこもりがちな高齢者に、マイクロバスによる送迎を行うことにより気軽に参加し、同町内の他地区の人達と交流し、心身の健康維持・増進に努めてもらう。			

④成果指標（意図の達成度を表す指標）		単位	数値区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
A	利用人数（延べ）	人	見込み値	168	168	170	175	180
			実績値	169	168			
B	開催回数	回	見込み値	12	12	12	12	12
			実績値	12	11			

【現状把握】

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和59年、月舘老人福祉センター開設時に事業開始。以降、利用者を送迎し入浴・健康相談・ボランティアによる味噌汁提供、交流をしている。なお、H21まで健康推進課主管で実施。
この事務事業の「対象」の現状はどのようになっていますか？	利用者が固定化、高齢化している。

【DO（実施）】

手段		
	事業概要	事業を広く周知するため「情報宅配便」等を活用し、周知を図った。 講座や教室を同時に開催し、介護予防につなげるとともに利用者増を図る。
	主な活動	年度実績(実施した主な活動) 保健師による「熱中症予防について」の講話を開催し、予防を促した。 今後レクリエーション講座を予定している。

【総事業費】

投入量			年度 / 単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（予算）	29年度（計画）	30年度（計画）
	事業費	財源内訳 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	119	116	123	123	123
		事業費計　（A）	千円	119	116	123	123	123

事務事業ID	1246	事務事業名	月舘地域高齢者福祉事業	担当部	総務部	所属課	総務部月舘総合支所

【SEE（振り返り評価・改革改善策）】※原則事後評価

目的妥当性

①この事務事業の目的（対象・意図）は、政策・施策目的と合致していますか？

	理由	介護予防・心身の健康維持・増進に寄与しているため合致している。
（合致していない場合は、合致する施策名・目的を記入してください）	見直し案	

②この事務事業の現在の対象と意図は妥当ですか？

	理由	日ごろ自宅にこもりがちな高齢者が、四季の湯に参加することで、交流をとおし生きがいをみいだしているため妥当である。
（検討の余地がある場合、見直し後の対象・意図も記入してください）	見直し案	

③本市が関与すべき事務事業ですか？

	理由	本市が関与しない場合、マイクロバスの借用やその他の面で支出が発生し、参加者に費用負担要求をせざるを得ない状況となる。
（民間事業者、NPO等が実施すべき場合は、関与すべき主体も記入してください）	見直し案	

有効性

④目的（対象・意図）、成果の視点から現状を見て、この事務事業の取組みにより、成果は上がっていますか？

	成果が上がっている点を理由を付して記入してください	
	成果が上がっていない点を理由を付して記入してください	利用者が固定化しており、利用者がまったくいない地区もある。 利用者が固定化しているため高齢化から、介護認定を受ける人が増えて、利用者が減っている。

⑤現在の事務事業の成果（上記④）は、成果の視点から見て、次年度の成果をどのように考えますか？

	理由	
さらに向上させる及び向上・維持は見込めない場合、見直し後の成果の視点を記入してください	見直し案	事業を広く周知するため「情報宅配便」等を引き続き活用し、周知を図る。 各種講座等を開催し、内容を充実させる。 各種会合での事業の周知と呼びかけの依頼。

⑥国・県及び庁内において統合または連携可能な類似事務事業はありますか？

	理由	他のサロンへの事業移行も検討したが、意図・目的が大幅に異なるため連携は不可能と判断した。
（連携または統合が可能である場合、見直し案を記入してください）	見直し案	

効率性

⑦必要な活動に対して事業費は適切ですか？（成果を下げずに事業費を削減できませんか？）

	理由	必要最小限の予算で執行しているため適切である。
（削減取組中の場合は取組内容を、圧縮の余地がある場合は見直し案を記入してください）	取組内容/見直し案	

⑧必要な活動に対して仕事の進め方は効率的ですか？（成果を下げずに業務時間を削減できませんか？）

	理由	準備・事後処理等は窓口対応の合間を縫っての業務となるため削減の対象とならない。
（効率化取組中の場合は取組内容を、効率化を図る余地がある場合は見直し案を記入してください）	取組内容/見直し案	むしろ、合間を縫っての業務となってしまい利用者をほうっておく状態となってしまうため、事業実施者としての関わりを検討しなおす。

【評価結果】

総合評価

	今後の事業全体の方向性とその内容	高齢者がますます健康で生きがいを持って生活できるよう、引き続き月舘保健福祉センター（以下「やまゆり」という）施設の一部（浴室、休憩室）を開放し、交流の場を設け、心身の健康保持に寄与する。

次年度へ向けた次の行動・具体策

目的・成果の視点を達成するために、「達成できた事項をさらに伸ばす方策」及び「解決すべき問題への方策」「新たな取組み」を具体的に記入してください

事業を広く推進するための広報活動。
各種会合でのPR。
介護予防の取り組み強化。（保健師指導による軽い運動、脳トレ体験）

コメント

担当者として事業を進めていてうれしかったこと、悩んでいること、市民に伝えたいことなどについて記入してください。

「楽しみにしている」「行くからね」との声が多い。
利用者は減少しているものの精神的な支えのひとつであることを改めて感じた。
事業継続のためには、開催方法等を検討しながら利用者増を図る必要がある。

係・課内での意見交換実施日	係内	課内